

【オンデマンド（ビデオ学習）】

項目	概要
基礎編 (37分)	1.我々は今時代のどこにいるのか、どこへ向かうとしているのか レベル合わせ、ロボットの分類、種類、領域、定義 2.時代の変わり目 新しい価値を提供する、ソフトウェアとハードウェアの交差点、先進技術動向予測の捉え方、時間軸で考える、今できることと将来できそうなことの境界線、AI とロボットの融合、知性の再現 3.グラン☆ロボティック テクノロジーの顧客への価値提供、スマートからロボティックへ、物理的行動を伴うリアル社会のサービス、グラン☆ロボティック～ヒトと機械と社会との劇的關係性～、Society 5.0 の先～ワレラの時代 誰もがよりクリエイティブで心躍る時間を生きる～
実践編 (111分)	1.現状を知る 子細なことの難しさ、産業用ロボットと協働ロボット（主な相違）、ロボットを活用したサプライチェーンの変革、協働ロボットの課題、価値、Sler の見分け方 2.国内外のロボット関連施策 国内（市場規模予測、政策など）、海外（中国、米国、欧州）、中国製ロボットとの付き合い方 3.安全性の確保 ①プライバシーと信頼 EU 一般データ保護規則、改正個人情報保護法、スマートホームは信頼が大事、データ収集管理（iRobot、Amazon など）、パブリック・アクセプタンス（社会的受容性）～心理・倫理、ジェンダーバイアス、バーチャルヒューマン～、子供への影響 ②法規・規格・保険・リテラシー 本質安全と機能安全、ロボットもケガをしないように、産業用ロボットの安全性確保、ロボットの規格（ISO、JIS、CE マークなど）、リスクアセスメント、サービスロボットの安全性確保、防塵・防水・防爆・耐衝撃、食品の安全、試験評価・適合性評価・安全認証 ③サイバーリスク/セキュリティ・損害保険・リテラシー サイバーリスク、サイバーセキュリティ、損害保険～ロボットやドローン、自動運転車、サイバーセキュリティなどの先進技術の保険～、多層安全、ロボティック リテラシー 4.プレイヤーになる 新規ロボット事業開発 ①事業スタート ロボット開発の企画から製品化までの流れ、特許出願、スタートアップ・エコシステム、オープンイノベーション、実証実験、神奈川県での実証実験、試験場（国、自治体）、展示会（国内、海外、バーチャル）、スマートシティ（国内、海外） ②商品化 ロボットの販売方法・手段、販路開拓、ライフスタイル・ワークスタイル提案、サポート、メンテ、カスタマーサクセス、導入支援、認定・トレーニング、ユーザーコミュニティ、SDK/API、オープンソース

【レクチャー】

項目	概要
実務編 (4 時間)	1.何から手を付けていけばいいのか ・ロボット導入を阻むもの ～すべてをロボット化する必要はない～ (なぜ ロボットなのか、なぜロボットを導入する必要があるのか、ロボットならではの用途とは何か、最適な解決方法・手段は何なのか) ・ロボットを使う意義 ～ロボット活用を考えるヒント～ ・ロボットが得意なこと ・データ入出力デバイスとしてのロボット (データ活用例) ・導入障壁を減らす ・ロボットが活躍できる条件 ・ロボット導入に適した分野、今後期待される分野・動向 2.プレイヤーになる 新規ロボット事業開発 ・社内組織改革・社内説得方法 ・ロボットビジネスの位置づけ・進め方 (ロボットを中核とした組織、プロジェクトの行方・承継) ・企画・開発から製品化 (コンセプトの明確化、プロダクトの優位性) ・アプローチ方法 (革新的アプローチ、漸進的アプローチ) ・工程ごとにロボットを活用する ・機能アップデート ・データの活用、販売 ・外部連携、オープン化 ・資金調達方法 (補助金・助成金、獲得のポイント) など 3.ディスカッション

※本講座では、ロボットを「広義のロボット：自ら考え動くモノ」と捉え、ドローンや自動運転車、遠隔 (半自動)、AI やバーチャル (シミュレーション、デジタルツイン、XR) などのロボット関連技術も含めてロボットビジネスを紹介すると共に、これから本格化する「グラン☆ロボティック ヒトと機械と社会との劇的關係性」や「ワレラの時代 誰もがよりクリエイティブで心躍る時間を生きる」についても解説します。